

月刊 ととろ



独立行政法人国立病院機構
いわき病院

第228号

令和5年11・12月発行

National Hospital Organization Iwaki National Hospital

信条

- ◆ 患者さま本位の医療を行います
- ◆ 患者さま及び家族の生活を大事にします
- ◆ 科学的根拠に基づいた質の高い医療を提供します

Merry Christmas Merry Christmas Merry Christmas

クリスマス会

第1病棟は令和5年12月14日(木)・第2病棟は12月20日(水)に一足早いクリスマス会を行いました。

第1病棟は、保育士3名、支援学校教諭2名で天使に変身し、鐘を病棟に響き鳴らしました。その後は、病棟の明かりを消し聖なる夜を演出しキャンドルサービスを行いました。普段とはひと味違う雰囲気うっとりとする患者さんも見られました。

楽器あそびでは、「あわてんぼうのサンタクロース」「ジングルベル」の歌に乗せてリズムをとり、職員と一緒に楽しく演奏する事が出来ました。絵合わせゲームでは、なかなか合わせる事が難しい絵カードを最後にピッタリ合わせることができ、患者さんとスタッフが一齐に歓声を挙げて喜んでいました。第2病棟では、療育棟に神父役の児童指導員が登場しました。その後はマジックショーが繰り広げられ、スカーフが棒に変わったり、本から花束が出てきたりと、様々な手品を見て楽しみました。天使に変身した保育士が幸せを届けたあとキャンドルサービスを行いました。その後は患者さんと一緒にサンタクロースの絵描き歌を上手に描きながら楽しみました。

第1病棟も第2病棟もサンタクロースとトナカイがやって来て、プレゼントを一人ひとりに届けてくれて楽しい時間を共に過ごす事が出来ました。

療育指導室 保育士 : 草野 与志恵



クリスマス聖歌隊

令和5年12月20日（水）、いわき病院聖歌隊が全病棟を訪問し、サンタクロースやクリスマスツリーに変装した職員が患者さんとふれあい、ハンドベル・ギター・ヴァイオリン演奏、クリスマスソングやダンスを心を込めてお届けしました。

患者さんも一緒に歌を歌ったり、体を動かしたり楽しいひと時を過ごしました。外出が困難な患者さんも多く、クリスマスの雰囲気を感じていただくことができました。

地域医療連携室 副看護師長：赤津 衣津香



還暦お祝い会を開催しました

令和5年10月5日（木）還暦お祝い会がありました。

新型コロナウイルスの影響で3年間延期となっていたお祝い会ですが、感染対策を講じながら規模は縮小となりましたが、対象者8名の皆さまをお祝いすることができました。

ご家族からのお祝いのメッセージの紹介、還暦証書授与、鏡開き等を和やかな雰囲気の中で執り行うことができました。3年ぶりに開催することができ、感動も喜びもひとしお。

ご家族の皆さまと一緒に、還暦を迎えられた皆さまの人生の節目をお祝いすることができたことを嬉しく思います。

療育指導室 保育士：伊藤 梓



第77回 国立病院総合医学学会に参加して



第77回国立病院総合医学学会は、会長：呉医療センター院長下瀬 昇二先生、副会長：広島西医療センター院長 新甲 靖先生のご尽力により、『未来へ向かって～日本の医療を支える国立病院機構～』を、メインテーマとし令和5年10月20日（金）～21日（土）の2日間、リーガロイヤルホテル広島をメイン会場として開催されました。

コロナ禍の為、令和2年～3年がオンライン開催となつて以降、本年5月8日にコロナ感染症が2類から5類となりその最初の年度として、これまでの規制制限等はかなり緩和され、多くのスタッフが直接会場に出向いての発表でした。特にポスター会場では、発表者も聴講者もマスクをしての発表となり、周囲の盛り上がりもあり大変こころに残る学会となりました。今回当院の発表は6題でした。口演発表では、リハビリテーション科 滝野 雅文副理学療法士長が「職場長キャリアラダー評価とスタッフ職員満足度との関係性について」を、リハビリテーション科 樋口 雄一郎主任言語聴覚士が「Maximum Insufflation Capacity トレーニングにより発声機能が向上した筋萎縮性側索硬化症患者の一例」を発表しました。ポスターセッションでは、リハビリテーション科 小中 知紗理学療法士が「約2年間にわたり短期集中入院でTRH療法とリハを定期的に継続した脊髄小脳変性症の1例」を、リハビリテーション科 平松 和哉作業療法士が「言語障害が進行し、意思表示が困難な筋萎縮性側索硬化症に対して透明文字盤操作方法を提案した症例」を、第1病棟菅原 恵美看護師は「倫理的意識の向上を目指した倫理カンファレンスの有効性～両上肢抑制帯となった一症例より～」を、療育指導室 小野寺亜紀主任保育士は「午前療育活動の参加向上に向けた取り組み」発表しました。どの演者も努力の成果を分かり易く発表し、会場からの質問にも的確に対応しておりました。

大変嬉しいことに今回の口演発表で、樋口 雄一郎主任言語聴覚士がベスト口演賞を受賞しました。今回の内容を振り返り、さらに研究を発展継続していただきたいと思います。

次回の第78回国立病院総合医学学会は、『進化していく病院であるために

～心理的安全性の高い組織づくり～』をテーマに

会 期：令和6年10月18日（金）・19日（土）

会 場：グランキューブ大阪（大阪国際会議場）

で開催されます。今回の経験を活かし、次回も数多くの素晴らしい研究成果が発表されることを期待したいと思います。

副院長：鈴木 栄



「スマート脳ドック」のご紹介

現在当院は、スマートスキャン株式会社の運営する脳ドックサイトの契約検査病院となっております。スマート脳ドックは Web 上で申込、検査前後の連絡を受け取り、受診者様は当日当院にお越しただき MRI 検査のみ行って頂きます。

詳しくは <https://smartdock.jp/>にてお問合せ下さい。



いわき病院の診療体制等について

- 診療科目 内科、脳神経内科、外科、脳神経外科、小児科（小児神経疾患）、リハビリテーション科
- 外来受付 8:30～11:30（ただし、急患につきましては電話にてご相談下さい。）
- 診療時間 8:30～17:15

外来担当医師診療日程表 【令和5年4月～】

区分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前 内科	診察① 鈴木 栄 診察② 尾澤 康彰	診察② 尾澤 康彰	診察① 鈴木 栄 診察② 佐藤 宏	診察④ 佐藤 宏	診察③
	診察③	診察③	診察③	診察① 會田 隆志 診察② 関 晴朗	診察①
	尾田 宣仁	會田 隆志	尾田 宣仁	田崎 博	脳神経内科担当医
脳神経 外科					
専門外来（完全予約制）					
午後 専門 外来 (診察室①)	第2・第4週のみ (小児神経外来) 柳沢 俊郎		(神経難病) 関 晴朗		第2・第4週のみ (小児神経外来) 柳沢 俊郎



お知らせ

◆患者相談窓口

患者さんやお見舞いの方などからの苦情・相談については、『患者相談窓口』と『ご意見箱』で対応しています。なお、皆様にお知らせした方が良い内容のものは、外来掲示板に掲示しています。

◆当院受診について

他の医療機関に通院中の方は、主治医の先生に当院地域医療連携室を通して診療予約をとって頂いた上で来院願います。



発行元 **独立行政法人国立病院機構 いわき病院**
 National Hospital Organization Iwaki National Hospital
 責任者 石井 亜紀子
 所在地 〒971-8126 福島県いわき市小名浜野田字八合 88 番地 1
 TEL 0246-88-7101 FAX 0246-88-7075
 ホームページ <https://iwaki.hosp.go.jp/>